

選挙に投票できる人の歴史

①大日本帝国憲法ができた時

1889年最初の選挙

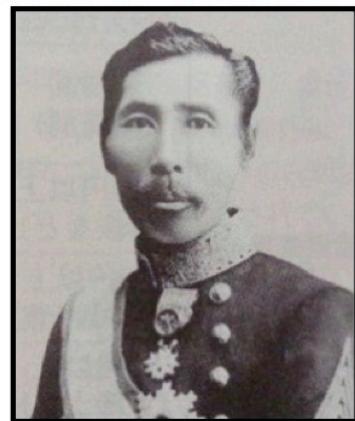
満25歳以上、直接国税15円以上、男子
全国民の1%だけ

②戦場カメラマン？山県有朋の改正

1900年の改正

満25歳以上
直接国税10円以上
男子

全国民の2%にちよびっと増える



山県有朋

③“平民宰相”原敬の改正

1919年の改正

満25歳以上、直接国税3円以上、男子

全国民の5%にちよびっと増える

原敬は米騒動で総辞職した寺内正毅の次に首相になった。貴族でも大名でもない「平民出身」の総理で（平民宰相）内閣も貴族をいれない“初の本格的政党内閣”として普通選挙の期待を受けた。でも、原敬は直接国税3円までにとどまった。裏切られたと感じた一部の国民によって原敬は東京駅で刺されて亡くなってしまおう（泣）

